キャラクター名	プレイヤー名
硝仔(ショーコ)	

ポジション	オートマトン	**享年**	16
メインクラス	バロック	**暗示**	陥穽(かんせい)
サブクラス	ロマネスク	**寵愛点**	203

初期配置	煉獄
最大行動値	10

能力値	クラス	修正	合計
武装	0	0	0
変異	2	4	6
改造	2	1	3

記憶のカケラ	内容
血の宴	金臭い真っ赤な血の池で、あなたは一人座り込んでいた。周囲に飛び散る人の部品は誰のものだろう。誰がこんなことをしたのだろう。なぜあなたは一人こんなところにいるのだろう。ひょっとして……。
ひきこもり	外は恐ろしい、みんながあなたを傷つける。だから、小さな部屋にこもっていた。外なんていらない。ああ、なのにこんな外へ引きずり出された。やっぱり外はこわい。部屋に帰りたい。
綺麗なガラス玉	
寂しがり屋の彼女	『とても寂しがり屋の友達がいた。彼女は、いつも誰かと一緒にいて、1人になることをとても嫌っていた。誰よりも、孤独を恐れていた。だから、彼女を一人にしないように、自分が傍に居てあげないといけないと思った。』
悲痛の声	『悲痛な声で自分のことが呼ばれている。「いかないで」、「寂しい」と。しかし、自分は振り返ることなく歩みを進めていた。』
まんなか	彼女とまきこまをした。「あなたは長女、あなたは次女、あなたは4女、あなたは末っ子。」「私は真ん中の3女ね。」「どうしてって?だって、真ん中なら寂しくないでしょう?」そう言って彼女は笑ったんだ。その笑顔が、何よりも好きだった。
屋敷	あなたたちは、目的があってここにたどり着いた。その目的は何かは覚えていない。でも、一人の少女に「お話しよう」と誘われ、屋敷の談話室へと足を踏み入れた。

未練				
対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
芽衣	依存	4	①②③④⑤	
夢華	保護	2	①②③④⑤	
リボイツ・バルク	憧憬	2	①②③④⑤	
ルア	依存	2	①②③④⑤	
		2	①②③④⑤	

マニューバ							
タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		無茶		オート	なし	自身	コストとして、あなたは任意の基本パーツを1つ損傷する。行動判定・攻撃判定・切断判定において、サイコロを振りなおしてよい。
ポジション		私は人形		オート	なし	自身	バトルパートでは1ターン目のみ、あらゆる「発狂状態」の効果を無視してよい。
ポジション		煉獄の檻		オート	なし	自身	バトルパートでターン終了時「煉獄」にいるなら、行動値がマイナスに達していても、次ターン開始時の行動値回復において最大行動値まで回復してよい。
ポジション		血の涙		オート	効果参照	自身	あなたは精神攻撃によって与えられる狂気点を無視してもよい。無視した狂気点1点につき、あなたは任意のパーツ1つを選んで損傷する。基本パーツが無い場合、この効果は使用できない。
メインクラス		怪力		オート	なし	自身	肉弾・白兵攻撃におけるダメージ+1。
メインクラス		業躯		オート	なし	自身	バトルパート終了時、望むパーツ2つを修復してよい。
メインクラス		狂鬼		オート	なし	自身	肉弾攻撃マニューバの攻撃判定において、出目+1してもよい。
メインクラス		歪極		オート	なし	自身	このスキルを習得した際、レベル3変異パーツを追加で1つ獲得する。このパーツは変化値に縛られず、修復することも可能である。
サブクラス		死の舞踏		オート	0	自身	攻撃判定のサイコロを振りなおす。
頭		のうみそ		オート			2
頭		めだま		オート			1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃１
頭		けもみみ		オート	なし	自身	行動値+1
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃１
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援１
腕		かた		アクション	4	自身	移動１
腕		ほねやり		アクション	2	0	肉弾攻撃1+連撃1
腕		ガントレット		オート	なし	自身	腕のみ、ダメージに対して常に「防御1」。腕部にある白兵・肉弾攻撃マニューバのダメージ+1。
腕		ぬいぐるみ		オート			たからもの
腕		にくへび		アクション	3	0	肉弾攻撃+2連撃2。攻撃判定において(連撃で発生した判定も含めた中で)1回だけサイコロを振りなおしてもよい。
胴		しっぽ		オート	なし	自身	最大行動値+1。
胴		リフレックス		オート	なし	自身	最大行動値+1
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ１つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		はらわた		オート			
胴		しんぞう		オート	なし	自身	最大行動値+1
胴		綺麗な硝子玉		オート			たからもの